令和7年度 障害者支援施設サポートなごみ 地域連携推進会議 議事録

日時： 令和 8 年 2 月 21 日(土) 10:00～11:30 **場所**： 障害者支援施設サポートなごみ 会議室

出席者：6名

- 【地域代表】　木屋宇都町内会 会長
- 【家族代表】　社会福祉法人正和会家族会 会長
- 【利用者代表】　サポートなごみご利用者2名
- 【サポートなごみ】有村啓伸（管理者）、本田雄慈（サービス管理責任者）

欠席者：1名

・ 【福祉に知見のある方】 就労支援センターハーモニー 施設長

---

1. サポートなごみ概要説明

・利用者情報　　・生活について
・サービス内容　　・健康管理
・栄養管理　　・支援体制

2. 利用者インタビュー（日中の活動報告）

生活介護・就労支援 B 型の活動について、利用者代表 2 名へのインタビュー形式で報告が行われた。

- **ご利用者（男性）**：
  - 施設での生活について「過ごしやすい、食事が美味しい（特に魚料理）」と回答。
  - 日中はダンスや絵画（受賞歴あり）に意欲的に取り組んでおり、集団のリーダー的存在。
  - 今後の希望として「地域の人とコミュニケーションをとりたい」「街に出かけたい」との意向が示された。

- **ご利用者（女性）**：
    - 同室の利用者と仲良く過ごしており、「ヨガの先生に来てもらって体を動かすのが楽しい」と回答。
    - 過去に参加した地域のお祭りの思い出を語り、「またみんなでお祭りで踊りたい」と強い希望が示された。

3. 地域連携に関する協議（木屋宇都町内会会長より）

- **地域との関わりについて**：施設が町内会に加入し、定期的な清掃活動等を通じて地域に貢献していることに対し、住民を代表して感謝の意が述べられた。
- **交流の提案（グランドゴルフ等）**：＊ 町内会でも高齢化・世帯減（61 世帯→43 世帯）が進み、行事の担い手が減っている。
    - 年 2 回開催している町内会グランドゴルフ大会へ、ぜひ利用者・職員にも参加してほしいとの招待を受けた。
- **情報の周知**：施設からの周知事項があれば、回覧板等を通じて全面的に協力するとの申し出をいただいた。

4. 家族会からの視点（正和会家族会会長より）

- **施設への信頼**：障害を持つ子の親として、社会福祉法人が運営する施設の存在は最大の安心材料である。
- **地域へのメッセージ**：施設が地域に馴染もうと努力していることを評価しつつ、地域住民に対しても「（利用者が）一生懸命やっていることを理解し、広い心で活動に巻き込んでほしい」との要望が伝えられた。

5. 施設側からの提案と今後の協力事項

- **リソースの地域開放**：
    - **農耕支援**：導入した大型トラクター等を活用し、地域の畑の耕運など、施設として手伝えることがあれば協力したい。
    - **施設の開放**：平屋で頑丈な施設構造を活かし、災害時の緊急避難場所として活用してほしい。また、多目的ホールやカラオケ設備も地域の集まりに提供可能である。
- **今後の課題**：＊ 利用者の平均年齢が 60 歳に達しており、老化防止・機能維持が急務。
    - 地域の行事（グランドゴルフや秋祭り）への参加は、利用者の活力維持に直結するため、今後積極的に調整していく。

6. サポートなごみ視察

・ 利用者様の居室や生活空間の説明

・ 生活介護　生産活動の説明

7. 総括

管理者より、今回の会議が地域・家族・施設を繋ぐ非常に良い「突破口」となったことへの謝辞が述べられた。今後も継続して本会議を開催し、顔の見える関係性を構築していくことを確認し、閉会した。